

平成 25 年度 事業報告

平成 25 年度において本会の設立目的である、スポーツに関する事業を行い、市民の健康の保持増進、体力の向上及びスポーツ精神を養い、もってスポーツ振興に寄与するため、各種事業を実施した。

1 競技水準向上事業

将来的に国際・国体級選手として活躍が見込まれる中学生以下のジュニア選手等の育成、加盟競技団体の強化育成と競技者の競技水準向上のために次の事業を行った。

(1) ジュニア特別対策事業

次代を担うジュニア選手育成のための練習、合宿を実施した事業に助成した。

8 団体:陸上、スキー、テニス、バレーボール、馬術、剣道、サッカー、
ホブスレー・リュージュ・スケルトン

(2) 優秀選手等招へい事業

県内、国内の優秀選手・指導者を招へいし、競技水準の向上を図る事業に助成した。

9 団体:陸上、スキー、体操、バスケットボール、ソフトテニス、馬術、剣道、
ラグビーフットボール、アイスホッケー

(3) 選手強化事業

将来的にインターハイあるいは国体級選手として期待できる者を対象に育成強化を図る事業に助成した。

5 団体:陸上、スキー、馬術、サッカー、アイスホッケー

(4) 指導者等育成事業

選手強化を目的とし、より多くの指導者を養成するため、日体協公認スポーツ指導者の資格を新規に取得する者、日本の種目別競技団体が公認する審判員の資格を取得する者、当該専門委員会の承認を得て、これらに準ずる資格を取得する者に対し助成した。

5 団体:水泳、スキー、水泳、馬術、アイスホッケー

(5) 補給消耗品支給事業

加盟競技団体に対して、競技水準の向上に資するために用いる競技用消耗品を支給した。 21 団体

(6) ジュニアスケート優秀選手強化事業

平成 19 年度から 10 年間継続して全国中学校スケート大会が長野市で開催されることを機に、地元ジュニアスケート選手の技術力向上、選手強化を図る。強化に当たっては、長野市スケート協会が実施する強化事業に対し、ジュニアスケート選手強化対策事業補助金要綱に基づき助成した。

2 競技力向上基本構想プログラムへの取り組み

国民体育大会長野県派遣選手数における長野市在住者の割合を、平成 16 年から 5 ヶ年で 20%にする目標を掲げた「競技力向上基本構想プログラム（第 1 次）」は、平成 21 年度、更に 5 ヶ年を目途に継続することを決定（第 2 次）し、改めて 8 競技団体を選定している。

本年度は、引き続き 8 競技団体を重点競技団体として強化を図ると共に、第 2 次プログラムの最終年度として、評価並びに新規事業のための研究、検討を行った。

(1) 認定指導者及び指定選手の登録制度

使命感の高揚を期すとともに精神的なサポートを図ることを主な目的に、加盟団体が責任を持って推薦し、本協会が認定する。認定指導者及び指定選手には、顔写真入りの認定証を交付する。また、加盟団体が計画する強化練習に際し、練習会場を市民利用に支障がない範囲で確保し、指定する施設の使用料を予算の範囲で減免した。

(2) 助成事業

国民体育大会や全日本選手権等での入賞を目指す競技団体の中から選定した 8 競技団体に対し、重点的に支援を行った。

【重点強化対象団体】

長野市陸上競技協会、長野市水泳協会、長野市スキークラブ、長野市体操協会、
長野市スケート協会、長野市卓球協会、長野市アイスホッケー協会、
長野市バレーボール連盟

(3) 専門研修会の開催

指導力及び競技水準向上のために必要な専門研修会を開催し、特別強化プログラムの高度な検証を図った。

11 月 15 日（金） トイゴ 生涯学習センター 参加者 101 人

講師：小松 裕氏 演題：いつも「本番に強い人」の心と体の習慣

(4) 成果主義による補助

競技団体が自ら実施する強化プログラムによる成果に対し、強化費を助成した。

8 団体：ボウリング、水泳、サッカー、バスケットボール、バレーボール、弓道、相撲、
軟式野球

3 スポーツ普及・交流事業

市民の体力向上、スポーツの底辺の拡大と振興を図るために次の事業を行う。

(1) 市民体育祭事業

市民がスポーツ大会に参加する機会をつくり、スポーツの振興を図るため、加盟団体が主催する市民を対象としたスポーツ大会に対して助成した。

23 大会 参加者数：5,043 人 35 チーム

(2) 国体県予選会補助事業

長野市内を主会場に開催した国体最終県予選会の大会運営費に対し助成した。

3 団体：水泳、体操、軟式野球

(3) 団体強化推進事業

加盟競技団体が主催するスポーツ教室や競技大会を後援し、競技団体の強化推進とスポーツ振興のための支援を行う。また、教室、大会等の開催実績により助成した。

(4) スポーツ教室・大会支援事業

加盟競技団体が主催する教室及び大会について、長野市の広報紙への掲載手続きや施設予約支援等を行った。また、長野オリンピック記念長野マラソン大会、NAGANO 飯綱高原健康マラソン、NAGANO スポーツフェスティバル、全国中学校スケート大会、その他市主催大会等へ共催又は後援の立場で協力した。

(5) 国際大会・国体出場激励金の授与

国体に出場した選手等に対し壮行会（本大会のみ）を開催し、激励金を授与した。

ソチオリンピック・パラリンピックに出場した選手等に対し、激励金を授与し、応援幕を長野駅コンコースに掲示した。

9 月 19 日（木） 国体壮行会 長野市役所 講堂 授与対象者 66 人

ソチオリンピック出場選手 7 人、ソチパラリンピック出場選手 1 人

(6) スポーツ振興功績者の表彰

スポーツの振興、競技力の向上に功績のあった者や競技会等において、特に優秀な成績を収めた選手及びコーチを表彰し、スポーツの振興を図った。

6 月 5 日（水） 長野市役所 講堂 功労 13 人、勲功 61 人（24 年度表彰）

4 スポーツ少年団育成事業

スポーツ活動を通して、青少年の心身の健全な発達を目的としたスポーツ少年団を育成するとともに、団相互の親睦を図る。また、スポーツ少年団に必要な指導者育成のための事業を推進した。

地域の各種スポーツ少年チームに対し、スポーツ少年団の活動等を積極的に宣伝し、新規加盟に努めた。

4月26日(金) 委員総会 長野市役所会議室

12月22日(日) 市交流会(ボウリング大会) 参加者数 181人

5 機関誌発行及びその他の広報活動事業

加盟競技団体の活動の紹介、スポーツの普及啓発を図るため、広報「スポーツナガノ 21号・22号」を発刊した。ホームページの充実を図り、加盟団体並びに市民に対しスポーツ情報を発信した。

6 自主財源の確保

事業の充実のため、法人及び重点的に募集を始めた個人の賛助会員の増加を図るなど、自主財源の確保に努めた。

賛助会費:個人 116人、法人 103社、加盟団体 32団体